

平成30年度第2回 旭区区政会議【全体会議・各部会】における意見への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
- ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
- ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
●旭区運営方針について				
1	石中委員	【戦略4-1】 災害避難時のビルの指定について、平成30年度運営方針には記載があるが、平成31年度には記載がない。もう十分にビルの指定ができたから記載がないのか。 (H30.12.5 全体会議)	【総務課(庶務)】 将来ビジョンに合わせて表現を修正した部分がありますが、水害時の避難ビルについては同じ対応で、より強化していきたいと思っています。	①
2	浦西委員	【戦略3-1】 文化芸術によるコミュニティづくりが平成31年度の新規項目になっているが、現在も子ども祭り(こども文化祭)や区民まつりなど、文化のコミュニティづくりをしているが、さらに文化芸術を通じたコミュニティというのはどういう形を取るのか。 また、予算も付いているが、どうかたちで進めるのか、具体的に何か考えているのか。	【市民協働課(市民協働)】 区内の文化芸術団体のネットワークである旭区文化芸術振興連絡会のメンバー募集を11月から実施しており、こども文化祭や区民まつりなど旭区で文化行事に関わっておられる団体等にも参画いただくことになっております。予算としては、広報パンフレットの作成などの「経費を計上しています。旭区の文化芸術に携わっている方々の横の連携が取れ、旭区全体が文化芸術で活性化することを企図した表現にしています。	②
3	鎌田委員	【戦略1-2】 小学生の体力・運動能力の向上支援とあるが、今の子どもの体力が落ちているというのは個人的な意見だが、学校や公園の遊具で事故が起きたらその遊具が使用禁止になり、どんどんいろいろなものが消えていっていると思う。体育の授業で体力の向上を図ることはもちろん必要であるが、休み時間などに遊具を使って体力を向上させるというのが本来の姿かと思う。 教員の指導力がアップすればそれが子どもたちの体力向上につながるというのは疑問に思う。それについてはどのように考えているのか。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)	【総務課(企画調整)】 ・平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文科省)」結果から、大阪市における児童の体力・運動能力向上に関する取組の必要性が高まっています。 調査の中で、「健康でいるために大切なこと」の質問において、運動・食事・睡眠について「大切」と思っている児童の割合が、大阪府は全国と比べて低い結果となっています。 ・区内各小学校では、休み時間の外遊び、マラソン大会、縄跳び週間等、体育の授業以外にも体力向上のための工夫をしているところですが、児童がさらに運動の重要性を理解し、運動を楽しんでいる環境を作る必要があると考えます。	②
4	木野委員	【戦略1-2】 小学生は、早寝・早起き・朝ご飯とよく言うが、唱えてるだけで本当にきちっとそこまでできているのかと思う。もっと体力以前の、日常生活の問題に取り組んだほうが良いと思う。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)	・「児童の運動能力向上サポート事業」は、区内小学校に運動に関する専門的な経験・技術を持つインストラクターを派遣して、児童の運動能力や体力の向上及び教員の指導力向上に資する出前講座を実施し、児童が自らの健康や体力に関心を持って運動を楽しみ継続するきっかけとなるよう実施します。 専門的な経験・技術を持つインストラクターに教えてもらうことで、「苦手だったことができる」、「より運動できる」ようになることが、体力・運動能力の向上のみでなく、児童の自己肯定感を高め、規則正しい生活ができるよう相乗効果を上げることも期待できると考えています。	
5	岡委員	【戦略1-2】 「児童の運動能力向上サポート事業」はどのようなものなのか。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)		
6	隅田委員	【戦略1-2】 「児童の運動能力向上サポート事業」について、今、子どもの生活基盤そのものが、食生活・睡眠・携帯のスマホなどの影響で、スポーツテストや体格などの調査でも、だんだん落ちているという結果は出ているので、そういうところに着眼して何か区で取り組んでいくことはすごくいいと思う。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)		

平成30年度第2回 旭区区政会議【全体会議・各部会】における意見への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
- ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
- ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
7	隅田委員	<p>【戦略1-2】 こども食堂支援でも、学習支援ということ で、生活全般を支援していかないと学習につな がないという話もあるとことを認識して、教 員の指導力という点だけではなく、子どもが 遊びなどを通じて元気になっていけるような事 業になるといいと思う。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【保健福祉課（子育て支援）】 先般の「旭区こども食堂ネットワーク会議」 において、同様のご意見がありました。旭区と しては例えば本市の教員採用試験における加点 制度にかかるボランティアに関して、こどもと 一緒にゲームや会話等のコミュニケーションを とり、こどもの家庭環境や背景に気づくことが 後に教員になるために役立つと考えており、単 に勉強だけに限るものではないため「こども食 堂支援事業」としてしています。今後ともこどもが すくすくと育ち、学べる環境を提供していくた めの事業としてこども食堂への支援を続けたい と考えています。</p>	①
8	横田委員	<p>【戦略3-2】 商店街に魅力を感じる区民の割合の区民アン ケートは年々右肩下がりになっている。今ど き、インターネットでの買い物が便利である。 商店街に行くと、行ったら行ったでいろいろ な発見があり、楽しい。足を運んでいただい たら見つかる魅力というのがあるので、そうい うのを皆さんにお知らせしていただくという のを、どんなふうにしていけばいいのかなと感じ ている。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【市民協働課（まち魅力）】 旭区では、商店街の魅力を知っていただけ るよう、商店街マップの配布や商店街が企画する イベントについて「広報あさひ」でPRすると ともに、5万人規模の集客イベントとして定着 した城北公園フェア開催時には、商店街にも足 をのばしてもらえるよう商店街の方々と一緒に 様々な検討をはじめたところです。また、「旭 区ブランド」の認定をきっかけとして、「旭区 ブランド」の1つである商店街の魅力発信にも取 り組んでおります。商店街に魅力を感じる区民 の割合は、平成26年度から平成28年度にかけて 下降傾向にありましたが、29年度については上 昇に転じたところであり、今後も商店街等と連 携して、商店街の魅力発信に努めてまいりま す。</p>	①
9	藤井委員	<p>【戦略1-2】 われわれの時代は、学校の授業さえ聞いてい たらついていけてが、今は塾に行かないと成績 が上がらないというのは、どうも腑に落ちな い。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【総務課（企画調整）】 家庭や社会の教育力が低下しており、学習習 慣が身についていない生徒が増加しています。 旭区においても、市塾代助成制度を活用した民 間事業者への委託事業「旭塾」を実施し、学習 の習慣づけや学力アップをめざしています。</p>	①
10	井上委員	<p>【戦略1-2】 学力テストの成績を先生の給料に反映させる というやり方に問題があると思う。スポーツに ついても、大阪府1位や全国1位などで評価を するところと問題があると思う。 そうなると、先生は、特定の優秀な子だけを 引き上げていくという方向に進んでいき、全体 の体力・学力からそれた教育になってきてるこ とに大きな原因があると思う (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【総務課（企画調整）】 学力向上に向けた目安として、学校別目標を 設定することは可能ですが、学力指標を教員の 人事評価・給与に反映する場合は公平・公正な ものにする必要があり、総合教育会議で検討さ れています。</p>	⑤

平成30年度第2回 旭区区政会議【全体会議・各部会】における意見への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
- ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
- ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
11	隅田委員	<p>【戦略2-2】 30年度運営方針には、NPOやボランティアのネットワーク強化について記載があったが、31年度運営方針では記載がなくなっており、代わりに、新規項目で地域包括支援センターの認知度向上が記載されている。私のイメージしてるネットワークづくりからは逆に後退してると思う。 地域包括支援センターを知ってもらえるのはもちろん良いが、それは当然のこと、区独自の取り組みでないの、それはあった上で、新たに他のネットワークをどうつくっていくかということ、もっと前面に出すほうが。ぜひ、ネットワークの記載は残しておいてもらえたほうが良いと思う。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【保健福祉課（地域福祉）】 24区の中でも、高齢化率の高い旭区におきましては高齢者の様々な相談機関である包括支援センターを知っていただく事は重要と考え、区独自の啓発活動を実施し、認知度を高めて行うとする取り組みです。 また、福祉ネットワークの強化につきましては、高齢関係を含む既存のネットワークの整理や、区政会議の学習会で委員の皆様の意見を伺いながら必要なネットワークの構築を進めているところで、項目には挙がっておりませんが、今後も引き続き強化に努めてまいります。</p>	①
12	岡委員	<p>【戦略1-1】 子育て支援の充実に関する事業（あさひプレママサロン・お母さんのほっとタイム）の視察に行ったが、参加されている方の評価が良かったが、対象人数が少なかった。いろいろな事業をしていただくのも良いが、限定した人しか来れないのではと思う。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【保健福祉課（子育て支援）】 「あさひプレママサロン」は、従来の妊婦教室のことですが、今後、両親を対象として内容をリニューアルするとともに、ニーズが高い土曜日開催の拡大を検討します。 「おかあさんのほっと!タイム」は、今後休日開催を検討するとともに、周知手法もより対象者に伝わりやすい手法を検討します。一時保育可能上限があり、最大10名としてきましたが、委員のご指摘の点については、保育ボランティアの増員などにより、対象人数の拡大を検討しているところです。</p>	②
13	井上委員	<p>【戦略2-1】 健康診断の受診率が非常に低い。旭区が特に悪いということではなく、大阪市全体が低い。健康診断を受けてもらうようにどうしたらいいのかというのを、知恵を絞る必要があるのではないかと思います。 だから、健康に対する関心が高まってはいない気がする。百歳体操の参加者が多いのは良いことだと思うが、健康診断を受ける人を増やすための努力をする必要があると思う。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【窓口サービス課（保険年金・管理）】 保険年金担当では、毎年「広報あさひ」の9月号に啓発用の記事の掲載や、保険年金担当窓口付近に啓発用ポスターの掲示や、新規国保加入者に対する受診勧奨を通じて、特定健診の受診勧奨を行っています。とりわけ保険年金の窓口では、特定健診の新規対象者に対して特定健診とがん検診を同時に受診できる会場一覧や旭区内の取扱い医療機関一覧及び啓発用の物品を配布して、積極的な受診勧奨を行っています。 引き続き、特定健診に対する関心を高める取り組みを検討したいと考えています。</p>	①
14	横田委員	<p>【戦略2-1】 特定健診の関心が高まるような取組が必要だと思う。その機会をつくるのが、区の広報であったりするが、広報さえ読まない方も多いようなご時世なので、どうしたら良いか、みんな知恵を絞る必要がある。 (H30.12.5 子育て・やさしさ部会)</p>	<p>【保健福祉課（保健衛生）】 保健福祉センターでは、特定健診とがん検診を同時に受診できる日を設定することで受診しやすくしているほか、健康フェスタや出前講座などで健康診断の大事さを知ってもらい受診を促進しています。 また、広報としては、広報あさひの3月号に4ページもの特集記事の掲載や、毎月の広報あさひに「健康だより」として検診（健診）情報を載せています。 今後、さらに健診に対する関心を高める取り組みを検討します。</p>	①

平成30年度第2回 旭区区政会議【全体会議・各部会】における意見への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
- ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
- ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
15	石中委員	【戦略4-1】 初期消火の際、道路の下にある地下式の消火栓を使えるようにできないのか。旭区からは、消防署と協議する必要があるという回答があったが、結局どうするのかわからない。具体的にスケジュール化して、どういう対応をするのか示してもらいたい。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課(庶務)】 大阪市の水道管路の耐震管率は平成29年度末で28.6%と低く、震災時には消火栓の活用ができない可能性があります。また、消火活動中に給水できなくなるなど、危険性も高くなる可能性があります。このような理由から本市の現状では困難と考えています。 なお、こうした状況は公設消防にも影響があるため、大阪市としては震災対策の消防水利として、防火水槽、プール、河川、海などを活用することとしており、大阪市全域をそれらの消防水利から半径300mの円で包含できるよう整備しています。これらの消防水利を活用し、有効な消火活動に寄与するため、引き続き地域防災リーダー訓練等を推進して参ります。	③
16	三木委員	【戦略4-1】 防災リーダーに就任して5年になる。可動式ポンプの操作は知っているが、各町会にポンプがあることは聞いたことがないし用水もない。力があるので高齢者では動かせない。今日、明日起こるか分からないような南海トラフに備えて、旭区については防火対策が必要であると思う。今の消火栓を使わないと、阪神大震災の二の舞になってしまう。法律が駄目なら法律を変えればいい。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課(庶務)】 可搬式ポンプ庫と防火水槽をはじめとする防災施設については、旭区地域防災マップに設置場所を掲載しており、広報あさひにも当該マップを掲載しています。ポンプ庫と水槽は基本的に同じ公園内など、隣接して配置されていますが、スペースの問題等により一部離れているケースがありますが、地域防災リーダー訓練の機会などにご説明させていただくとともに、これらの防災施設の配置や運用については、地域の声を聞きながら、円滑な初期消火につながるよう改善に努めてまいります。 (消火栓の使用については、「15」に同じ)	②
17	三木委員	【戦略4-1】 先日の台風で、空家の壁が落ちた。消防署に来てもらったが、空家の持ち主に了解もらわないと崩せないとされた。われわれは住みやすい旭区・命を守る旭区にしてもらわないと困る。住みよくても命を落としたらどうしようもないので、命を守るようなことは優先課題としてやってもらわないといけない。実際、火事が起こったら、2台ある大型消火器も1分で終わりのため、やはり旭区については、本気で防火対策をやってもらいたいと思う。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課(庶務)】 これまでに引き続き、旭消防署とともに人命を守ることを最優先に防火・防災の取組みを進めてまいります。	①
18	石中委員	【戦略4-1】 町内の防災組織をつくって、そこで初期消火をやりましょうという話をしているが、大阪市では町内の防災組織はないということなので、なくて大丈夫であるということをちゃんと説明してもらおうのが筋ではないか。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課(庶務)】 本市では、災害に強いまちづくりのために、地域では自主防災組織や地域防災リーダーが平時より防災活動に取り組んでいます。	①
19	三木委員	【戦略4-1】 他都市では、自主消防隊が使える消火栓がある。どうして大阪市でできないのか。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課(庶務)】 「15」に同じ	③
20	亀井委員	【戦略4-1】 簡易消火ポンプのあるところに、貯水タンクが設置されているかどうか、全員に分かるようにしてほしい。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課(庶務)】 可搬式ポンプ庫と防火水槽の設置場所は、旭区地域防災マップで確認することができます。地域における平時の防災関連施設の点検などにご活用ください。	①

平成30年度第2回 旭区区政会議【全体会議・各部会】における意見への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
- ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
- ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
21	弾委員	<p>【戦略4-1】 貯水するタンクとポンプとは別の公園にあり、鍵はそれぞれの町会長が持っており、両方そろわないと役に立たない。地域での差もあるようである。より有効な配置や有効な使い方について回答を願う。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【総務課(庶務)】 「16」に同じ。貯水槽には鍵はなく、ポンプ庫に設置している道具で開放可能です。</p>	②
22	浦西委員	<p>【戦略3-1】 文化芸術について、予算も付いているが、どうかたちで進めるのか、具体的に何か考えているのか。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【市民協働課(市民協働)】 区内の文化団体による旭区文化芸術振興連絡会を組織し、文化芸術の振興や活動の強化に取り組んでいく予定です。予算は、パンフレット作成に係る経費などを計上しています。旭区がさらに文化芸術の力で盛り上がるよう支援していきたいと考えています。</p>	①
23	大城委員	<p>【戦略3-2】 旭区の魅力のところは、ほとんど城北公園の魅力と商店街の魅力であるが、予算的にかなり少ない。 他都市では、例えば、区役所の中に、地域の会社や商品を展示し、魅力発信している。商店街でもいろいろな商品があるので、その辺を旭区が発信して広めていくとか宣伝をしていくというのが、魅力発信である。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【市民協働課(まち魅力)】 今年度は、旭区の魅力を「旭区ブランド」として再編集し、区民まつり等のイベントで実演や実物展示を実施しました。また、新たに旭区の居住魅力をPRするリーフレットやインバウンド向けの体験メニューの開発なども行い、積極的に区の魅力発信に取り組んでいます。区役所内では、商店街マップやイベントのポスター・チラシの掲出・配布を行っておりますが、今後、商品展示についても検討します。</p>	②
24	大城委員	<p>【戦略3-2】 イタセンパラの保全活動をしているが、陸橋の下の辺りを利用してイタセンパラの水族館的のようなもので、魅力を出したらどうか。城北公園の魅力を発信できるような何か設備、施設が欲しい。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【市民協働課(まち魅力)】 イタセンパラの魅力発信については、平成29年1月にイタセンパラを旭区の魚に認定するとともに、様々な機会を捉えて、イタセンパラの実物展示やマスコットキャラクター「パラッチ」の啓発グッズを配布し、イタセンパラを区民の皆様知ってもらえるよう取り組んでおります。なお、陸橋の下を所管する本市建設局にもご意見の旨をお伝えしました。</p>	④
25	大城委員	<p>【戦略3-2】 閉鎖した「市民交流センターあさひ東」(もと「両国人権文化センター」)周辺の活用について、役所の考えが欲しい。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【総務課(企画調整)】 もと「市民交流センターあさひ東」については、土地所管局が市民局であり、「未利用地等活用方針策定基準」に基づき処分検討地としていましたが、平成30年8月に民間へ売却しています。 なお、周辺地域のまちづくりについては、市役所関係所属と区役所、地域代表との意見交換を進めており、今年度中には方向性を共有し、お示しできるものと考えております。</p>	①

平成30年度第2回 旭区区政会議【全体会議・各部会】における意見への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
- ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
- ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
26	川井委員	<p>【戦略3-2】 城北公園フェアは、地元の者としては早くやめてほしい。活力を出すためにイベント等をして人を集めているが、リピーターが少ない。城北公園に魅力があって来ているのではない。地元の者にとっては、やかましいだけ。本来の城北公園の魅力は公園であるので、にぎやかさはいらないと思う。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【市民協働課（まち魅力）】 今年度で6回目の実施となる城北公園フェアは、区内で唯一の5万人規模の集客イベントとして定着してきました。区外からも多くの来場者（約7割の方が区外から来場（アンケート結果））があり、城北公園や淀川ワンドなど自然豊かな環境や旭区の魅力を知っていただくという意味においても、一定の効果があると認識していますが、今年度から商店街や地域の皆様にも参画いただいて「実行委員会」による開催としており、イベントの集客効果が少しでも地域に還元できるよう検討をはじめたところです。 近隣地域の皆様には、ステージの音量など風向きや時間帯によっては、ご迷惑をおかけするところもございますが、こういったイベントを契機に、広く区内に集客効果が波及し、旭区が活性化するように取り組んでまいりますので、ご理解をお願いします。</p>	③
27	三木委員	<p>【戦略3-2】 フェスティバル（城北公園フェア）に400万円も使わず、住民の方が憩いを求めているのであれば、そういうかたちでいかしていくべきと思う。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【市民協働課（まち魅力）】 城北公園フェアは、主催を区役所から実行委員会に変更し、出店料や協賛金の収入による運営に向けて第一歩を踏み出したところです。当区内唯一の5万人規模の集客イベントとして、引き続きイベントの集客効果が少しでも地域に還元できるよう検討してまいります。 本イベントに係る全体経費は維持しつつも、区役所が負担する経費につきましては、第1回（平成25年度）の832万円から第6回（平成30年度）は400万円まで大幅に減額しており、将来的に自立的な運営を目指しております。</p>	③
28	宮川委員	<p>【戦略3-2】 最近、菖蒲園は荒れ放題と聞いているが、菖蒲は旭区のシンボルなので、菖蒲園だけはなんとかきれいにしてもらいたい。城北公園事務所がなくなって管理できないことが理由かもしれないが、みんなが楽しみにして菖蒲の時は、特に行っている。小学校で花菖蒲栽培するのも結構だが、やはり菖蒲園をきれいにしてあげたらと思う。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【総務課（企画調整）】 建設局鶴見緑地公園事務所の城北公園班が菖蒲園をはじめ城北公園全体の維持管理に従事しています。 建設局では、城北公園班の職員の技術の向上をはじめ、総合的に維持管理水準の向上を図っているところです。</p>	①
29	川井委員	<p>【戦略4-1】 地域防災意識の向上の中に、一般向け防災講演会による防災啓発を実施するとあるが、非常に良いことだと思うが、たくさんの参加者が来ることが費用対効果となるので、各地域の方が参加する方法を考える必要があると思う。区役所だけでやるのではなく、10地域を主催者に引っ張り込むことを考えないといけないのではないか。 (H30.12.5 活力・安全部会)</p>	<p>【総務課（庶務）】 防災講演会については、区民の方が参加したくなるテーマや内容であることと、区民のより多くの方に周知を図ることが、多くの方が来ていただく上で特に重要と考えています。 企画する際には、各地域の防災担当者の方などのご意見やご協力をいただくことで、より有意義な講演会になるよう努めてまいります。 また、主催・共催として、関わっていただくことについても検討します。</p>	②

平成30年度第2回 旭区区政会議【全体会議・各部会】における意見への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
- ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
- ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
30	宮川委員	【戦略2-1】 「いきいき百歳体操」は、医療費の抑制につながるだけでなく、①立ち上げ費用不要、②スタッフ少人数で可、③週4回見守り効果大、という利点があるので、助成金なり地域活動協議会へ取り入れるなど、進めていってはどうか。 (H30.12.5 追加意見)	【保健福祉課（保健活動）】 旭区では、平成30年12月現在で32グループが「いきいき百歳体操」を実施されています。 旭区役所では、各グループに対してDVDやおもりの貸し出しを行っており、新しいグループには保健師による講座を行うなど活動を支援しています。 今後、さらに普及を図るため、「いきいき百歳体操マップ」を作成するなどPRに力を入れるとともに、地域における諸団体との連携のあり方についても研究していきたいと考えています。	③
●その他				
31	宮川委員	平成29年度旭区区政会議委員評価シートについて、「有効であったと思わない」部分の採点は1点となっているが、「思わない」場合、普通は0点ではないか。 (H30.12.5 全体会議)	【総務課（企画調整）】 全市、統一的な様式であり、ご指摘はごもっともですが、ご理解をお願いします。	④
32	川井委員	今回の、委員どおしの意見交換という部会のやり方は、非常に良かったと思う。委員の意見に対する賛成意見・反対意見が出てきて議論が深まるという発展がある。関連した意見も出てくるし、深化していき、自分も参加しようという気になり、区政会議に出席した意義があるように思えた。今後このやり方を続け、区政にも反映していってほしいと思う。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課（企画調整）】 新しい試みでしたが、活発に意見交換していただきありがとうございました。区としても、一つの項目に対して多様なご意見をお伺いすることができました。 今後も、会議の持ち方を随時検討し、区政に反映してまいります。	①
33	大城委員	区政会議の開催そのものに限界を感じる。旭区全体のことを鳥瞰的に議論すべき会議のはずが、そうっていない。自身も含めて予習せず会議に出席していることに後ろめたさを感じる。区政会議を継続していくのであれば、公募委員の割合を増やすべきである。 (H30.12.5 活力・安全部会)	【総務課（企画調整）】 区政会議では、区の区域内の基礎自治に関する施策等の実施に当たり、立案段階から意見を把握・反映するとともに実績及び成果の評価に係るご意見を聴くことを基本としています。ついでには、どの地域団体から委員を選定すれば区民等の多様な意見が適切に反映されるものとなるかを区長が判断し、推薦を依頼しています。 旭区区政会議委員は、現在33名で、うち6名が公募委員であり、規則に定められている「委員の定数の10分の1未満でないこと」を上回っているところですが、次回の適切な人数については、今後検討してまいります。	③